

# 質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度、市の行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

12月定例会では、15人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、各議員はマスクを着用しております。

三田市議会会議録  検索 

三田市議会インターネット録画中継  検索 

## 中田 哲 議員

新政みらい



### 農業

#### 持続的に市民が農業を応援できる体制づくりを

**議員** 農業に関心のある都市住民を農村サポーターとして育成し、繁忙期にサポーターの応援を求める農業者と結びつけるかけ橋となる農村サポーター育成事業を実施できないか。

#### 市 農村地域の活性化に向け取り組んでいく

現在、JA 兵庫六甲のアグリライフ相談所が人手不足の農園と学生アルバイトをマッチングする等、実績をあげている。農業者をサポートする市民の育成力、地域とのマッチング力を高める取り組みが必要。まずはニーズの把握と方法の具現化に努めていく。(西田地域創生部長)

**他の質問** ●新型コロナウイルス感染症に係る現状と課題について ●こども医療費助成制度について

## 水元 サユミ 議員

日本共産党三田市議団



### コロナ

#### コロナ禍の介護現場を把握した物資支援を

**議員** 介護現場では、日頃より感染症対策をしているが、プラスチック手袋などの衛生用品が手に入りにくい状況である。また消毒液もアルコール度数が70%以上のものが必要であるが、今後どのように支援していくのか。

#### 市 継続的に物資支援をしていく

令和2年3月より各事業所にマスク、消毒液、使い捨て手袋などを必要に応じて提供してきた。今後、聞き取りなどから状況把握に努め、国や県の関係機関と連携し不足する衛生用品の提供し、支援していく。(入江福祉共生部長)

**他の質問** ●交通不便地域解消に向けての市の取り組みについて

## 長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



#### コロナ 市独自のPCR検査を

**議員** 感染リスクは低いけどゼロではない人など、不安を感じる市民から、PCR検査を受けたいとの声を聴く。不安を取り除き、万が一の感染者を増やさないために市独自のPCR検査体制を確立すべきでは。

#### 市 不安を取り除けるよう検査を実施

濃厚接触者等へのPCR検査では、場合により濃厚接触者以外にも幅広く関係者を対象に行われるようになっており、関係者の不安を取り除けるよう、市内においては、指定を受けた11カ所の発熱等診療・検査医療機関で検査できる体制が整えられている。(入江福祉共生部長)

**他の質問** ●三田市民病院に関する諸問題について

## 井上 昭吾 議員

無党派



### 教育

#### 市立中高一貫校設置で未来の学校の先取りを

**議員** 教育改革が進む中、STEAM教育に重点を置く市立高校の設置で21世紀型人材の育成と地元大学等への連携を進めるべき。空き教室等を活用し、市独自の先進的カリキュラムを持つ中高一貫の市立学校設置について考えを伺う。

#### 市 生涯にわたり学び続ける力を育てたい

「まちづくり」は「人づくり」。幼稚園から大学まで継ぎ目のない誰もが安心して子育てできるまちこそが「学びの都三田」であると考えている。三田市の教育方針を定める総合教育会議で教育委員とも意見交換していきたい。(森市長)

**他の質問** ●郷土教育について ●小学校でのプログラミングと外国語教育必修化の現状について ●「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」参加について



**説明** \*STEAM教育: Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (ものづくり)、Art (芸術)、Mathematics (数学) の5つの領域を重視する教育方針のこと

## 大西 雅子 議員

公明党



### 健康

#### 3歳児健康診査での視力検査のあり方を伺う

**議員** 子どもの目の機能は6歳までにほぼ完成するため、3歳児健診で異常を見逃すと視力の回復は難しい。3歳児健診時に屈折検査機器を導入することで弱視の見逃しをなくすことができると考えるが市の見解を伺う。

#### 市 調査研究を行い、検討していく

現在、市では保護者が自宅で行う簡易検査を行っているが、眼科医による検査が必要な子どもの見逃しも否定できない。近隣市でも導入や採用検討の動きがあり、早期発見、精度の

高いスクリーニングに繋げるよう検討していく。(高見子ども・未来部長)

**他の質問** ●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に向けた取り組みについて ●新型コロナウイルス感染症が拡大する中での取り組みについて ●生活困窮者自立支援事業について



**説明** \*スクリーニング: 問診や検査等を行うことによって、集団の中から特定の病気が疑われる人を選び出すこと。

## 松岡 信生 議員

公明党



### 貧困対策

#### 子どもの「貧困対策」に向けた支援強化を

**議員** 国の対策を受け3年前の調査に続き、子どもの成長を見届けながら定期的な実態調査をすべきでは。また「養育費確保」は重要な視点。県下に先進事例もあり取り組みの検討を。またポストコロナの中、ひとり親家庭への継続した経済支援を検討すべきでは。

#### 市 ひとり親支援の充実などを検討する

前回の実態調査対象の小学4年生が中学3年生になる2年後に再調査を想定。養育費の確保は先進事例を研究し実施に向け検討。また、ひとり親家庭の経済的支援についても、国や県の動向を踏まえ検討を進める。(高見子ども・未来部長)

**他の質問** ●新型コロナウイルス感染症の対策について ●今後の文化振興のあり方について ●適切な課税のあり方について